

花

いま
新潟大学の魅力と現在を発信
新潟大学季刊広報誌 [RIKKA]
2020.WINTER
NIIGATA UNIVERSITY MAGAZINE No. 31

新学長就任
—これからの社会で果たす使命“知のゲートウェイ”—

授業紹介 -教育の現場-

学生の課外活動&サークル紹介 Enjoy! 学生ライフ
注目される研究報告／シリーズ 恩師と語らう
活躍する卒業生紹介 “学びの先”
OBOG・教員によるコラム
基金関係のお知らせ／Campus Information

いま
日本酒学の現在
～発足から2年、見えてきたもの～

地域を掘り下げ世界的なアピールに 特徴的な教育・研究を強力に推進する 新潟大学の象徴的な組織に

取り組んでいこうと考えています
海外では日本食ブームが熱を帯
び、一流店のメニューリストにはた
くさんの銘柄が並ぶ。また、国
内の市場にも従来の保守的なイ
メージを覆すようなスタイルシ
なデザインのボトルが溢れ、若い
女性からも日本酒は注目され
る。このような状況下で、さらな
る期待が高まる日本酒学。日本
酒学センターの今後の展望はどの
よなものなのだろうか。



「新潟大学として力を入れてい
くことは間違ひありませんし、基
本的には教育・研究・情報発信・
国際協力の4つの柱について引き
続き進めていきます。特に現在は、
海外との連携が進んでいますので、
その部分はより強固に進めていき
たいと考えています。また、教育
の領域では方針や内容がかなり固
まつきました。今まで学部の教養科
目だけでしたが、今後は
大学院への展開や社会に向けての
取り組みでいこうと考えています」

「ボルドー大学のワイン学からパ
トリック・ルーカス教授とボルドー
のワイン生産者らによるフランスの
ワイン生産システムや市場等につい
て講演をしていただきました。一方の日本酒学からは、酒米、麹菌、
酵母の最新の研究について、講演
を行いました」

また、昨年5月の独立行政法人
人酒類総合研究所講演会では、
『新潟大学「日本酒学」の経緯と
将来構想』と題して国内の酒造
メーカーや関係者に対して取り組
みを紹介する場が設けられ、今
後の交流や全国的な広がりが期
待される。

そして鈴木一史センター長が最
も成果が上がったと語るのが「国
際交流」だ。『ワインの世界的な銘醸地にあ
る、フランス・ボルドー大学では

日本酒学に対し非常に興味を
持っていました。昨年1月の最初
の訪問から1年経たずに連携協
定を結びました。現在、今秋に
ワイン学と日本酒学のサマースクー
ルをボルドーで行なえないかと構
想中です』

また昨年10月には新潟大学、
新潟県、新潟県酒造組合の3者
でカリフォルニア大学デービス校を
表敬訪問した。

「カリフォルニア大学デービス校
は、米国のナパバレー近郊にキャン
パスを構え、世界トップクラスのブ
ドウ栽培学・ワイン醸造学部を
有しています。その取り組みにつ
いて学び、今後の連携について積
極的に情報交換を行いました」

現在、地方の国立大学が置か
れている状況やあり方を議論す
る中で、地域資源を対象にした



「日本酒学センターがコア・ステー
ションから全学共同教育研究組織
になったことで、新潟大学の日本
酒学は更なる発展に向けて強固
に地盤を固めている。新たに設置
された推進室の存在や予算の充実
は、研究者がより研究に専念でき
る環境を作り出し、様々な研究
機関や海外の大学との共同研究の
進展へとつながるはずだ。また、
複数のユニットに分かれて進められ
る日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間や
行政と連携し、私たちだけでは
気付かないような新しい領域にも

研究は各教員の専門分野ごとに
複数のユニットに分かれて進められ
る。日本酒学が扱う対象は広範
のため、ユニットを作ることでテー
マを絞り、課題を明確にすること
で研究を効率的かつ専念して行う
ための組織になっている。」

「専任教員に加えて新規の教員
も採用予定ですので、組織にさら
に厚みができると思います。大学
内での知識だけではなく、民間

Enjoy! 学生ライフ

CAMPUS TOPICS

第11回ダブルホームシンポジウムを開催しました



地域活動を通して学生たちが成長を目指す、本学独自の学生支援プログラム「ダブルホーム」のシンポジウムを12月14日(土)に開催しました。このシンポジウムは、2009年度から学生主体で企画・運営を行っています。11回目となる今年のテーマは「進歩～地域の一員へ～」。学生たちが地域の一員となって今後の活動をさらに充実させていくために、地域の方・学生・教職員で「多様な視点から対話し、学び合うこと」を目的に実施されたものです。参加者は、全体会でのアンケート結果の報告により各々の活動や地域への思いを確認した後、分科会において所属ホームを横断したグループで各ホームの議題について話し合いました。続いて行われたホームミーティングでは、それぞれが所属するホームにおいて、分科会で得た意見や考えなどを共有し、今後の活動の方針について検討しました。この進行は、他ホームの議題について話し合うことで、自分たちの課題解決に向けた新たな視点を取り入れることを目的に、学生たちが工夫し、実施されたものです。

歯学部の学生2チームが「ジャパンビジネスモデル・コンペティション」

全国大会への出場権を獲得しました

「ジャパンビジネスモデル・コンペティション 新潟ラウンド(JBMC-NIIGATA)」が開催され、本学歯学部の学生2チームが2020年3月に東京で開催される全国大会への出場権を獲得しました。このコンテストは、アイデア重視の一般的なビジネスプランコンテストとは一線を画し、アントレプレナーとして成功するための必須スキルである仮説検証力や顧客発見力を中心に評価する、起業に直結する実戦型ビジネスプランコンテストです。予選を経たJBMC-NIIGATAの最終選考が12月1日(日)に行われ、厳正な審査の結果、本県のものづくり技術を生かしたプラン「健康歯ブラシ」と、妊婦をターゲットに素材やデザインに拘ったプラン「母から子へ『健康を遺伝』させる歯ブラシ」のいずれも歯学部の学生2チームが優秀チームとして選出され、全国大会への出場権を獲得しました。

CIRCLE PICK UP!

映画俱楽部

機材が限られても、学生ならではの発想力と行動力で乗り越える

約70人の部員が在籍する映画俱楽部。部会を週1回開いているほか、グループに分かれ映画を自主制作し部内コンペを年2回行うなどの活動が行われている。「部員には個性的でクリエイティブな人が多いですね。映画を見るのが好きな人や監督をしてみたい人、脚本をつけてみたいという人が入部してきています。」学生であるがゆえ、趣向を凝らした作品制作のために揃えられる機材は限られているが、代わりに学生たちの限りない発想力と行動力を駆使して、これまでにユニークな作品を何本も制作している。「表現したいことをチームで形にしていくのが映画制作の面白さ。そして、苦労して作品が完成した時には一段とやりがいを感じます!」

CIRCLE PICK UP!



映画づくりは
チームワークが
大事です

部長 小林岳大さん
(人文学部2年)

病気と闘う子どもと、
その家族と一緒にいられますように。

2022年4月
開設予定

誘致の募金にご協力お願いいたします。

– 小児医療宿泊施設 – ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

詳しい
詳細は

お問い合わせ：センター連携推進室 TEL : 025-262-6010 E-mail : kikinjmu@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学の学生は、勉学のみならずサークル活動を始め様々な課外活動で活躍しています。このコーナーでは、そんな青春の1ページをお届けします!

大野義章 教授

Yoshiaki Ōno

Profile

博士(理学)。強相関電子系の理論研究を行っている。高温超伝導や重い電子系などのテーマを、理論・数値計算を用いて研究する。



意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

統計力学ⅢA / 統計力学ⅢB

「反転授業形式」を採用
事前学習とグループワークを通して理解度を高める

高温で成り立つ古典統計
力学の近似は低温では成り立たない。温度が下がるに伴い、物質の示す様々な量子効果などを調べる講義。
学生は分配関数や自由エネルギー、熱力学量の正しい計算や、熱力学量に対する講義は従来とは異なり「反転授業形式」を採用している。

「学生は講義前にウェブ上に公開された事前学習動画で予習し、ノートを作成して講義に挑みます」
大野教授によると1回20～30分の動画に対し、学生が予習に費やす時間は平均2時間半。普段の講義よりも長く時間をとり、繰り返し動画を見ながらノート

るのが特徴だ。

「反転授業は教員にもメリットがあります。動画作成の段階で講義内容を確認ができるので、完成度が高い講義提供が可能になるのです」
また、講義室では事前学習ノートの確認や質疑応答の後、少人数のグループに分かれて演習を行う。

「学生の授業評価アンケートによると、知識、論理的思考力に加え、他者との協働や議論、自ら調べて勉強したことなど、項目が多く選択されています。反転授業の採用は、成績が改善されたことに加えて、意見の表現や交換、自発的学習行動などの汎用的能力、態度にも良い影響を与えていました」

STUDENTS VOICE



左: 本井茉実さん (理学部3年)
右: 吉川拓弥さん (理学部3年)

「通常の講義や予習では、ひとりで考えることが多く、行き詰ったり、理解しないまま放置してしまうこともありました。反転授業になりました」(本井) 「事前学習動画は、聞き逃した箇所に戻ることができるのでも、予習がしやすいし、理解が深まります。理解できなかった箇所はグループワークや演習後に、先生やTAに直接質問しています」(吉川)



意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

授業紹介

—教育の現場—

専門的な知識や技術の修得と、均整の取れた知識の獲得は教育の重要な役割。約5,000科目の中から特色ある授業を紹介。

vol.30・理学部



「学生のノートには事前学習動画の要点、疑問点が記入されています。学生はそれを持ち寄り、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して理解の定着や疑問点の解消に努めます。学生同士が学び合い、教え合い、活発に議論する」



名称変更のお知らせ

2020年3月、サービスセンターは

トラベルセンターへ

国内旅行(JR・バス・航空券)、海外旅行・留学、運転免許など トライアルセンター TEL.025-262-6245

UNIV CO-OP 新潟大学生活協同組合

注目される研究報告

新潟大学では、伝統的な学問分野を継承するとともに、専門分野を超えて連携し合つ研究や、先端的な研究など、真理探究や社会の発展に貢献する研究を行っています。



人文社会科学系(法学部)
大島梨沙 准教授

| Profile | 博士(法学)。専門は民法。日仏比較を通してカップル関係の法的取扱いのあり方を研究

研究課題

カップルの法的取扱い

社会的前提が変化する中 カップルの法的取扱いはどうあるべきか



会もパートナー同伴で、高校生でもカップル形成が許されています。自然と法律もカップル関係を重視しています。中でもPACSはフランス独自の制度で、カップルが契約で結ばれるという発想自体が面白い。共同生活の中でのお互いが果たす義務や財産についての取り決めで、非婚カップルや同性同士でも利用できます。一方で日本は、届け出一枚で結婚も離婚もでき、カップルを制度的に守るような意識は薄いと思います。離婚や死別時の特別な規定があるとはいえ、結婚しても財産状態は独身時代と変わらないというのが民法の前提です。また、カップル関係を維持していくうえで必要な規定が不十分です。

日本におけるカップルを取り扱う法律は1947年の民法改正時から主要な部分は変わっておらず、家制度を維持するための名残があるもの。現代は核家族化や共働きは当たり前、シングルで生きる選択肢も常識化する時代。社会的前提が変化する中で、これからのカップル関係の法的取扱いはどうあるべきかを考えることは重要だ。



フランスではPACS法改正により、裁判所ではなく市役所での登録が可能に



フランスでの在外研究の際に訪れたナント市の裁判所



フランスでの性的マイノリティの権利保障を訴えるパレード

ときめく「知」の交流

地域社会への知的貢献を行う拠点として、「新潟大学駅南キャンパスときめいと」が設置されています。

新潟駅直結のPLAKA1に位置する抜群の利便性のほか、約610m²(185坪)の広さに、大小の会議室、展示イベント等に使用できる多目的スペースを提供しています。それぞれの会議室には大型スクリーン、プロジェクター等のAV機器が用意され、講義のほか、講演会やセミナーにも最適です。どうぞお気軽にご利用下さい。



お問い合わせ・お申し込みは 新潟大学駅南キャンパスときめいと ☎950-0911 新潟県新潟市中央区笛口1丁目1番地 ブラーカー1 2階
Tel:025-248-8144 Fax: 025-248-8144 E-mail: tokimate@adm.niigata-u.ac.jp

恩師: 野村修一 名誉教授 元・新潟大学歯学部教授 教え子: 田澤 貴弘さん 浅妻 真澄さん 撮影 よこごし野村歯科クリニック

野村 僕が教授になって初めての大学院生が田澤先生。その次の代が浅妻先生です。加齢歯科学講座は当時は画期的なものでした。初期は人も部屋もお金もないという状況でした。誰が何をしているのかすぐ把握できるような規模でした。

田澤 ドアもないような研究室でしたが、先生との距離が近く、とても楽しかった記憶があります。田澤先生は今も昔も、とにかく教授らしくないというか(笑)、威張らないし気さくなイメージしかありません。もちろん怒られた記憶はありませんし、スタッフにも患者さんにもそのままに優しさが溢れています。

浅妻 大学にいらっしゃる先生の中で、群を抜いて優しかった。どんな世代や病状の患者さんに對しても、自分のことのように真剣に悩むし、親身になって向き合われるんです。僕の診療スタイルのベースlickには、当時の野村先生のスタイルが大きく影響しています。

野村 とにかく丁寧に、眞面目にというのは心がけていました。それは学生さんに対しても同じ。臨床実習の最中に学生さんの傍らで指導したり、治療を見せたりするのは特に大好きでしたよ。

田澤 講座の院生や医局員と一緒に新潟マラソンを走ったのもいい思い出です。教授と医局メンバーがまとまって参加していたのは僕らだけかもしれないですね(笑)。あま



シリーズ vol. 30 恩師と語らう 師弟で懐かしむ当時の新潟大学



浅妻 マラソンの打ち上げは正直、疲労困憊でした(苦笑)。そうそう、女子の医局員も巻き込んでソフトボールの練習や試合もしましたね。当時は練習もみんなで行っていたね。マラソンは今でもま

のむしゅういち
野村修一 名誉教授

博士(歯学)。昭和48年、新潟大学歯学部卒。助手、助教授を経て、平成10年、新潟大学歯学部教授。平成25年退職。学外で非常勤講師を務め、平成27年に新潟市江南区に、よこごし野村歯科クリニックを開院。地域の医療と健康に貢献する。

あさみますみ
浅妻真澄さん

平成12年、新潟大学歯学部卒。同16年に大学院修了。現在は新潟市中央区にある浅妻歯科医院に勤務。親子2代で患者に寄り添った診療を心がけている。

たざわとかひろ
田澤貴弘さん

平成11年、新潟大学歯学部卒。同15年に大学院修了。開業医での勤務を経て、平成19年に生まれ育った新潟市西区にレオ歯科クリニック開院。

学びの先

新潟大学で”真の強さ”を学び、
社会に羽ばたいた10万人を超える卒業生。
社会で活躍する卒業生をご紹介します。

加藤卓将さんは工学部・
大学院自然科学研究科を
経て、野村総合研究所
(NRI)に就職。顧客に
対して個々にマッチしたソ
リューション提供を軸に、
業務に邁進した。

し、大切なのは、機械をただ販売するだけではなく、地域の特性に合うものをしっかりと見極めて提案することだと思います」

一方で、農業にIT技術を持ち込む際、現場の抵抗感やハードルの高さを目の当たりにすることもし

た。地域の方たちと大学や学生との距離の近さもローカルの大学ならではである。



農業が抱える後継者不足をITで支援

番組を独自に配信してきました。企業の規模に応じたスタートアップビジネスの方法論やチームマネジメントの重要性を学びました。3年後、見附にある定業の農業機械整備会社Uターンを決意。現在は前職での経験をいかし農業が抱える後継者不足をITで支援しようと走っている。

「IT農業という言葉が浸透し、農業用ドローンなどの最新の機械も並んでしつつあります。し

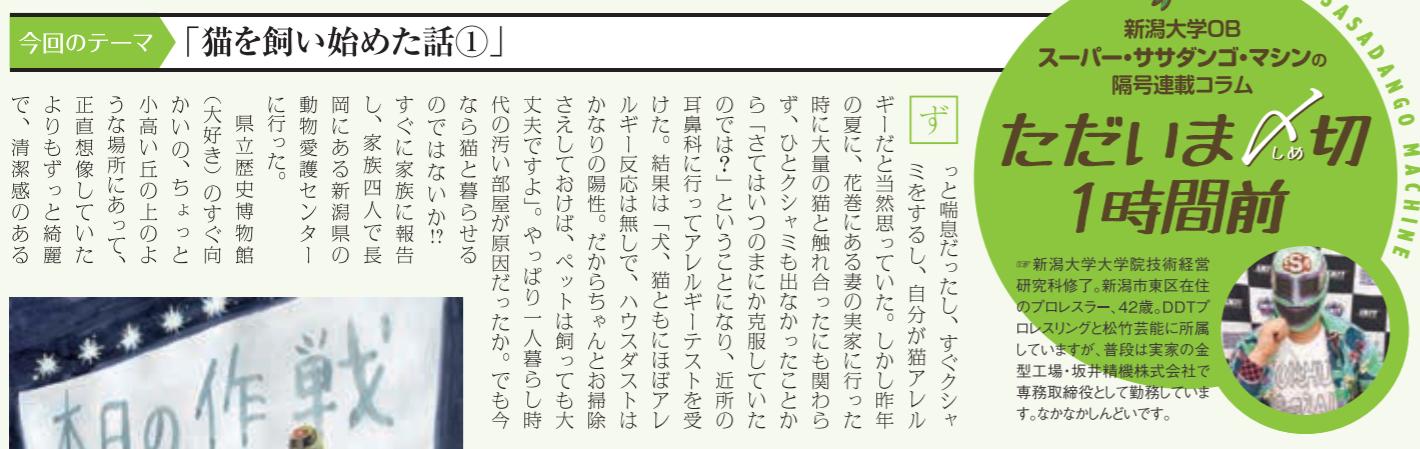
んは感動はしても、"使い
方を覚えるのが大変" "予
算がない" という声が多い
んです。この現実をふま
えて、若手農家さんと連
携しながら、ベテランの農
家さんにも理解してもら
えるような関係性作りを
心がけています」

そんな加藤さんのキャリ
アのベースには新潟大学で
過ごした時間がある。
「新潟大学は総合大学
で、様々な学部の人との
出会いや、考えに触れる
機会がたくさんありました

が、地元に帰ってきたのは
キャラダランでなく、や
りたいことがはつきりして
いる”キャラチャレンジ”で
す。農業×ITなら自分
がトップを走る可能性が
あると信じて取り組んで
いきます】

Information

株式会社カトウ A M
[os://katouam.jp](http://katouam.jp)
元の見附・長岡・三条に根差し
農業機械の販売・整備の他
ローン等IT農業支援を展開。
世代農業に関わりたい方の採
用拡大中(技術営業)



うしようかという話になつた。ほんとの猫は、新しい飼い主が見つかった時点で改名するのだそうだ。「そもそも『カーサ』ってどういう意味だったっけ」と思つて検索すると、イタリア語で「家・住まい」と出てきた。「住むところがなくて保護されたのに名前が『家』だなんて、なんともまあ洒落たやつなんだ！」とそのまま力んで呼ぶことにした。

COLUMN ◇ 新潟大学教員によるコラム “知見と生活のあいだ”

学教員がそれぞれの専門領域と
常の接点を題材に、日々の生活
論やアイディアを綴るリレー式
第14回は教育学部です。

第14回 ● 教育学部 ブータン歌謡と音楽教育

あなたは
金でつくったブンパ
(聖水の入れ物)
私は銀でつくったブンパ
もし運命ならば
仏間のチル
(聖水などが置かれる場所)
で会いましょう

を短い定型の旋律にのせて歌い占いや掛け合いをして楽しみます遊び方は、いくつかありますが例えば、掛け合いをして競い合う場合二つのグループが向かい合い片方のグループが歌いかけ、もう片方がそれに応えていくことを繰り返します。ちなみに冒頭の歌詞は相手に対して「縁があるなら」互いを隔てている海のような障害を乗り越えて仲良くしましょう」といった、やや好意的な意志を伝うています。これに対して、次のうな歌詞が返ってきたりします。

Che ni jhamtshoo la faka
あなたは海の向こう
Nga ni jhamtshoo la tsuka
私は海のこちら側
Lay dang mi lam yoe na
もし運命ならば
Jhamtshoo bu lu zom sho
海の真ん中で会いましょう

伊野義博
大学院教育実践学研究科
(教育学部)教授
専門は音楽教育学・民俗音楽学。民俗の音や
音楽と学校の音楽教育との
関係をテーマに
研究。



卒業生と母校との絆、ポケットに「新潟大学カード」入会受付中!

新潟大学全学同窓会では、新潟大学の発展を支援し、学部間の枠を超えた同窓会員へのサービスと連携を深める目的で、三菱UFJニコスと提携してクレジット機能付きVISA国際カード「新潟大学カード」を発行しています。

新潟大学カードに関するお問い合わせ先
新潟大学全学同窓会事務局
電話:025-262-7891
(受付時間 平日10:00～15:00)
E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

ー学生の輝く未来と共に創るー 基金関係のお知らせ

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、
「学生の修学支援」「国際交流」「教育施設整備」の推進を目指しています。

新潟大学まなび応援基金

■目的 経済的理由により修学が困難な学生に対して、就学支援事業を行います。

令和元年度は、「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」「新潟大学大学院博士課程奨学金」「新潟大学修学応援特別奨学金」及び「新潟大学学業成績優秀者奨学金」に支援を行っております。

■寄附者名簿 (R1.9~R1.11寄附入金分) ※(50音順 敬称略)

〈個人〉吉塚 康一 松尾 日佐子 小林 博典 石井 正一 柏木 道子 佐藤 純一 匿名希望1名

新潟大学基金

■目的 新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、教育・研究活動支援、国際交流活動支援、学生のための厚生施設整備などを推進する事業を行います。

■寄附者名簿 (R1.9~R1.11寄附入金分) ※(50音順 敬称略)

〈個人〉青柳 豊	阿部 尚義	新井 啓	伊賀 芳朗	五十嵐 秀一	五十嵐 文雄	池内 健	石崎 文雄	石田 武裕
石田 央	市川 高夫	市川 卓郎	伊藤 正一	稻月 原	井上 善也	今村 勝	内山 聖	内海 治郎
榎本 博幸	遠藤 国勝	大川 賢一	大川 雄祐	大湖 健太郎	大島 康義	太田 隆	大谷 和雄	大塚 美弥子
大橋 昌子	大山 芳郎	岡崎 裕史	岡崎 実	小川 政男	小竹 裕子	柿田 明美	角田 亀春	角田 令子
梶原 隆広	片桐 正則	勝井 豊	金谷 崇文	金谷 文則	金子 亨	上村 顯也	川上 亮子	川瀬 晃
川並 龍奈	川端 和重	神澤 孝夫	菊地 善彰	菊地 利明	木島 秀人	木村 道夫	草間 光俊	窪田 正幸
熊谷 敬一	栗田 勇	黒木 美恵子	黒澤 明充	甲田 豊	小島 健一	小島 秀男	奥水 崇鏡	児玉 省二
後藤 司郎	小長井 淳吉	小林 勲	小柳 清光	斎藤 専一	酒井 邦夫	坂井 豊明	坂内 優子	笹川 力
佐々木 容三	佐藤 一明	佐藤 矩美子	佐藤 新一	佐藤 信昭	佐藤 昇	佐藤 弘恵	佐藤 弥生	佐藤 豊
佐藤 芳昭	品田 章二	渋谷 隆	志村 英樹	清村 道生	下地 恒毅	下山 時生	白井 光徳	末武 修史
菅村 洋治	鈴木 榮一	鈴木 邦人	鈴木 聰	鈴木 俊明	鈴木 正博	鈴木 涼子	須藤 正二	須永 隆夫
閑 秀格	閑根 理	相馬 達郎	曾我 紘一	曾我 洋子(旧姓 織田)	曾我 洋子	曾根 博仁	染矢 俊幸	多賀 紀一郎
高木 秋夫	高木 敏之	高木 広道	高桑 好一	高坂 亀美雄・高坂 陽子(旧姓 織田)	田中 典生	田中 典生	高橋 クニ	高井 和江
滝澤 英昭	武内 廣盛	武田 啓治	竹田 徹朗	竹中 信夫	田代 文俊	田代 文俊	高橋 幸雄	丹野 芳範
千葉 泰子	千葉 義和	土田 正則	椿 重雄	堂前 洋一郎	戸枝 哲郎	富樫 孝一	鳥羽 雅英	富沢 修一
富田 晋吾	富永 真琴	永井 博子	中川 悟	中平 啓子	長沼 正子	中野 功	中野 欣也	長野 純二
中野 三枝子	中野 一衛	成田 邦彦	何 汐朝	新田 幸寿	西井 清行	西巻 啓一	新田 初美	野中 利房
野呂 真衣子	長谷川 まこと	畠山 貴明	羽鳥 幹子	塙 晴雄	早野 信也	早見 恵子	張替 徹	平田 明
廣瀬 雄己	深瀧 信夫・洋子	福居 恵和	福地 健郎	藤原 満	古川原 誠	堀 一	本間 滋	前沢 政次
前田 達朗	眞木山 蘭	増渕 健	松浦 恵子	松村 剛一	道又 かおる	宮島 嘉道	宮村 治男	目黒 真哉
目良 恒	森 俊彦	柳本 雄司	矢内 俊裕	柳原 俊雄	矢部 正浩	山岸 良男	山口 英郎	山崎 貞治
吉井 新平	吉川 恵次	吉田 芳哉・吉田 佳代子	吉成 仁見	吉成 裕紀	米岡 有一郎	和田 恵子	渡辺 健寛	渡辺 浩匡

〈団体〉医療法人愛仁会龜田第一病院
昭和59年卒同窓会一同
新潟県立がんセンター新潟病院
社会医療法人嵐陽会三之町病院

医療法人社団木島医院
医療法人仁成会とやの中央病院
新潟綜合警備保障株式会社

医療法人社団山東医院
医療法人社団高橋クリニック
新潟大学全学同窓会

医療法人社団嶋倉クリニック
社会医療法人新潟勤労者医療協会
新潟薬科大学

匿名希望111名
匿名希望1団体

新潟大学センター俱楽部

■目的 繼続して新潟大学を支援するため、俱楽部年会費の全額を「新潟大学基金」に寄附します。
また、会員様へ本学の情報発信を行い、新潟大学と会員及び地域社会との連携と発展を目指します。

トピックス

毎年、センター俱楽部会員の皆様に奖学金受給学生の活躍をお伝えする場として、「センター
俱楽部報告会・情報交換会」を開催しています。今年度は、11月12日(火)にアートホテル新潟駅前で
開催し、会員、学生(留学生を含む)、大学教職員の計187名が参加しました。

報告会は、高橋学長から「新潟大学の取り組み」について報告があった後に、俱楽部の支援を基に実
施している奖学金制度の受給者である学生4名から活動報告がありました。4名は奖学金受給のお陰
で大学や博士課程に進学でき、勉学や研究に励んだり、サークル活動を通じて様々な経験を積むことが出来たことなど、温かいご支援への感謝の意を述べました。

情報交換会は、株式会社キタック代表取締役会長の中山輝也氏からのご挨拶、乾杯のご発声の後、会員、学生、教職員による活発な情報交換・交流が
行われ、とても賑やかに盛り上がりました。

新潟大学古本募金

■目的 皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただくと、その査定額が新潟大学に寄附されます。
寄附金は学生の修学支援をはじめとした事業に役立てられます。

■寄附者名簿 (R1.9~R1.11寄附入金分) 〈個人〉9名 〈団体〉8団体

あたたかいご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
「興味がある」「詳しく知りたい」「寄附したい」とお考えの皆様へ

詳しい資料をお送りいたしますので、お問合せ先までご連絡願います。新潟大学ホームページでも詳細をご覧いただけます。
問合せ先 新潟大学センター連携推進室 [TEL] 025-262-5651・6010-6356 [e-mail] kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp
[HP] https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/

新潟大学センター俱楽部への入会のお願い

新潟大学は、1945年5月に新制国立大学として発足して以来、新潟という地において、地域と世界の発展に資する「知の拠点」としての重要な役割を果たしてきました。現在は、10学部5大学院研究科、2研究所、医歯学総合病院等からなり、約13,000人の学生と約3,000人の教職員を擁する全国有数の大規模総合大学となっています。

一方で、日本の国立大学は2004年に国立大学法人に移行し、独自の財政基盤づくりが各大学法人に求められるようになりました。そのため、新潟大学では、2009年に「新潟大学基金」を創設し、時代に即した質の高い教育・研究の推進、社会への貢献をするための基盤整備のためのご寄附を募ってきましたが、その一環として、2016年3月に新たな仕組みとしての「新潟大学センター俱楽部」を創設しました。

本俱楽部は、新潟大学の活動を継続的にご支援していただける企業や法人の方々に入会いただきます。会員の皆様には、年会費を「新潟大学基金」に寄附金として納入していただき、その基金は新潟大学の「学生の修学支援」、「国際交流」、「教育施設整備」に関わる整備に活用させていただきます。一方で、会員の皆様には、本学の広報誌を定期的にお送りするとともに、年1回の報告会・情報交換会において、本俱楽部から得られた基金で実施している多種多様な活動のご紹介と、この基金で支援を受けた学生との直接な交流の場を提供させていただきます。

新潟大学は、「自律と創生」という本学の理念のもとに、地域と国際社会に貢献する知の拠点として、最先端の研究活動を開拓しています。幕末の開港5港の一つである新潟市で、日本の「知のゲートウエイ」としての役割をさらに明確にしながら、今後ますます活発な人材交流と頭脳循環を図り、魅力ある活動を開拓していきます。その中で、企業を始め多くの期待に応えることができるような質の高い人材、現代社会の課題に的確に対応できる多様な人材の育成を推進します。

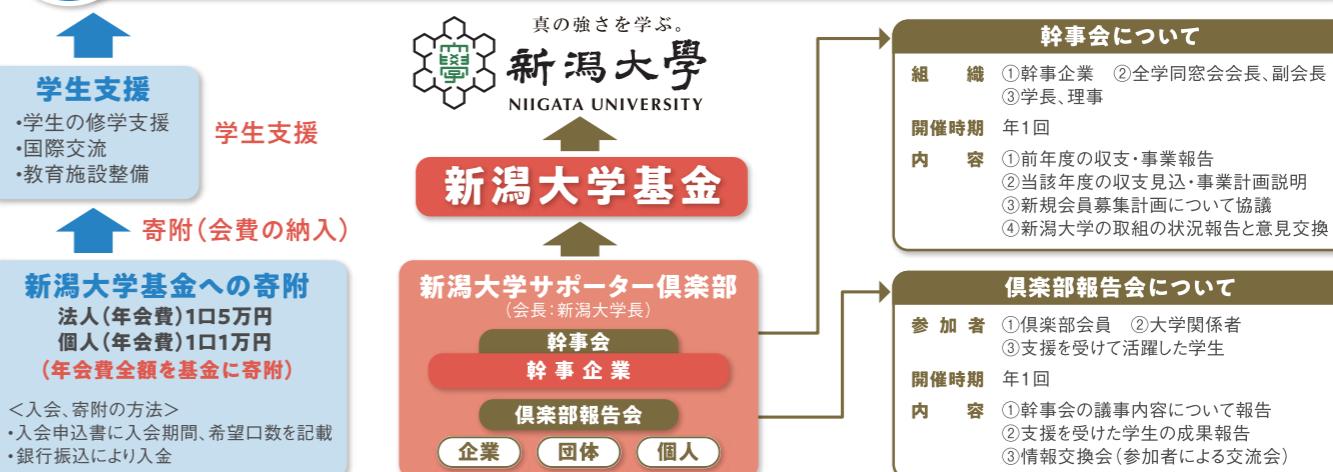
皆様におかれましては、「新潟大学センター俱楽部」の趣旨にご賛同の上、ぜひともご入会いただき、新潟大学への継続的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新潟大学長 牛木 辰男

新潟大学センター俱楽部の概要

趣旨 目的

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、新潟大学が行う「学生の修学支援」「国際交流」「教育施設整備」の推進について、「新潟大学基金」への寄附を通じた支援を行うとともに、会員への情報発信により新潟大学と会員及び地域社会の連携と発展を目指す。



読み終えた本が募金となって
学生の修学支援などに役立てられます

「新潟大学に寄附したい」とお伝えください
お申込み 新潟大学古本募金 0120-29-7000 (受付)
9~18時
(運営) 嵐電野株式会社 TEL. 025-262-5651, 6010

企画 新潟大学センター連携推進室
TEL. 025-262-5651, 6010
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



Campus Information

地域に密着しながら様々な活動を続ける新潟大学。皆さんにお伝えしたいニュースはたくさんあります。

AP事業テーマIV「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)」 合同総括シンポジウムを開催しました

本学では、11月10日(日)に文部科学省採択事業 大学教育再生加速プログラム(AP)テーマIV「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)」合同総括シンポジウム「長期学外学修の多様な広がりと大学教育再生の未来」を開催しました。当日は、AP事業テーマIV採択校をはじめとする県内外の高等教育関係者、企業関係者など約100名が参加し、事業最終年度を迎えるテーマIV採択校全12校の取組を総括し、従来型の大学教育と長期学外学修の関係性、大学と社会との連携、入口と出口を見据えた学生の成長といった観点から、今後の大学教育再生の可能性を提言する大変有意義な会となりました。長期学外学修を経験した学生を交えたパネルディスカッションでは、「学生が変わる」「大学が変わる」といった点をキーワードとして、「長期学外学修を契機として、入口から出口までを見据えた大学教育全体がこれからどのように変わっていくのか」という大学教育再生の将来像について、白熱した議論が展開されました。



ロシア・ハバロフスクで日本留学フェア等を開催しました



本学は、11月15日～16日、ロシア・ハバロフスクにおいて、日本留学フェアとその関連イベントを開催しました。この留学フェアは、本学が北海道大学及び筑波大学とともに昨年度から文部科学省の委託を受けている「日本留学海外拠点連携推進事業」の一環で行われたもので、本学の協定校である極東医科大学の全面的な協力を得て同大にて実施されました。日本留学の概要説明、ロシア人学生による日本留学体験発表、各校の紹介があったほか、留学相談ブースも設けられ、会場には2日間で延べ約300名の現地高校生・大学生が集まり、ブースでは活発に質問する様子が見られました。また、日本文化体験コーナーも併設され、参加学生は書道・折り紙・着物などの日本文化に触れ楽しんでいました。さらに、極東医科大学の学生を対象に、本学及び福島県立医科大学の教員による内科学・耳鼻咽喉科学・解剖学に関する模擬講義が行われました。二日間にわたって行われた各種イベントを通じて、日本や新潟の魅力をロシア極東の方々に知っていただく大変有意義な機会となりました。

株式会社ブルボンと連携協定を締結しました

本学と株式会社ブルボンは、12月9日(月)、新潟市内のホテルにおいて、組織的な産学連携を推進し、相互の発展と地域社会への貢献を図ることを目的として、連携協定を締結しました。両者は、これまでにも医学分野を中心とした教育・研究の両面での連携や、若者の地元定着や人材育成を目指す取組などにおいて連携を行ってきましたが、本協定を結ぶことにより、組織的な関係へと発展させることで、技術開発や事業化の加速、学術研究振興や人材育成、そして地域社会の発展へ寄与することを目指します。協定式において、ブルボンの吉田社長は「今回の協定のもと、新潟大学との連携を強化し、新潟県全体の発展に貢献したい」と、高橋学長は「地域に根差した総合大学として、幅広い分野での教育研究成果を活用し、地域の発展や人材育成に貢献したい」とそれぞれ述べました。

